

外注金額全体では増加するも 県内企業への外注金額は大きく減少

当センター(取引支援課)は、次のとおり「外注ニーズ調査」を実施しました。

受注活動の参考にさせていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。

これによると、前年度に比べ生産状況及び外注している加工内容等には目立った変化がないものの、県内受注企業への外注金額が大きく減少しており、県内受注企業が苦戦を強いられている状況が窺われます。

なお、後半に記載の「発注案件」の詳しい内容をお知りになりたい場合は、当課にお問い合わせください。

調査について	目的	県内主要発注企業の外注状況及び受注企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介あっせん等の円滑化に資すること。
	対象企業	県内所在の発注を主とする登録企業 114社
	調査方法	調査対象企業を訪問してのヒアリングによる悉皆調査
	調査時点	平成15年2月現在

生産状況

(1) 現況

回答企業114社の生産状況を生産品目総数351品目(前年度340品目)についてみると「多忙」とする品目が31品目で8.8%(前年度26品目7.6%)、「適正」が165品目で47.0%(同109品目32.1%)、「余力あり」が155品目で44.2%(同205品目47.0%)である。前年度に比べ「適正」が14.9ポイント増加し、「余力あり」が16.1ポイント減少しており、全体としては上向きの傾向にあることが窺われる。(図1)

これを製造分野別にみると、「多忙」はOA機器が41.7%(同11.8%)で最も高く、次いで輸送機器が11.7%(同7.1%)である。「適正」は電子部品が71.4%(同58.8%)、住宅関連が66.7%(同88.9%)、通信機器が62.5%(同31.4%)、電気音響が55.6%(同40.0%)である。「余力あり」は農林機器が64.7%(同66.7%)、精密機器が56.5%(同

73.9%)、半導体が56.0%(同64.7%)である。(図2)

(2) 見通し

今後の見通しを生産品目総数351品目についてみると、「上昇」が43品目で12.3%(前年度25品目7.4%)、「横ばい」が206品目で58.7%(同146品目42.9%)、「減少」が102品目で29.1%(同169品目49.7%)であり、ここでも全体としては上向きの傾向にあることが窺われる。(図3)

これを製造分野別にみると、「上昇」は一般機器が20.6%(同7.7%)で最も高く、次いで半導体20.0%(同17.6%)、OA機器19.4%(同9.1%)の順となっている。「横ばい」は電気音響が75.0%(同42.5%)、電子部品が71.4%(同52.9%)、農林機器が70.6%(同33.3%)の順に高い。「減少」は住宅関連が66.7%(同55.6%)、通信機器が55.0%(同71.4%)の順に高い。(図4)

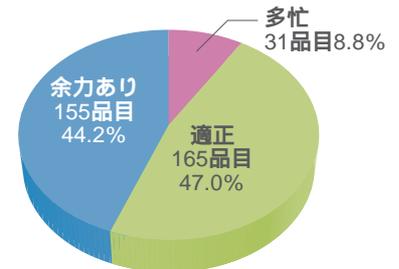


図1 生産品目でみる現況(合計351品目)

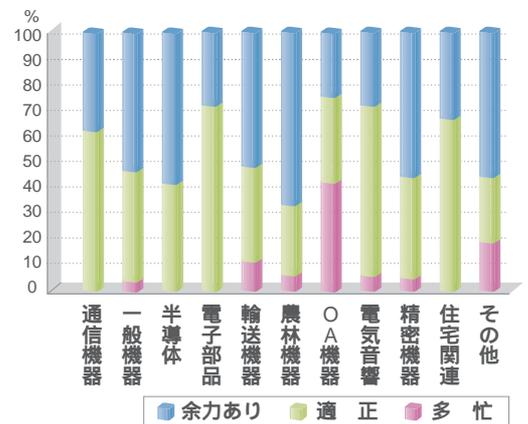


図2 製造分野別でみる現況(合計351品目)

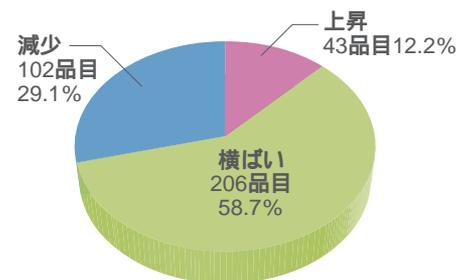


図3 生産品目でみる見通し(合計351品目)

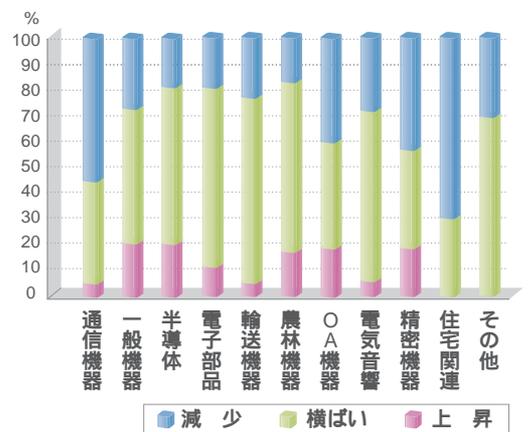


図4 製造分野別でみる見通し(合計351品目)

外注状況

(1) 外注企業数

回答企業114社が外注している企業数(延べ)は3,018社あり、これを県内外別にみると、「県内」が40.2%(前年度42.0%)、「県外」が59.8%(同58.0%)であり、これまでどおり「県外」が20ポイントほど高い。(図5)

これを製造分野別にみると、一般機器が599社(同619社)、輸送機器が470社(同444社)、通信機器が384社(同373社)である。さらにこれを県内外別にみると、「県内」が高い製造分野は、電気音響の176社61.1%、農林機器の93社52.5%、住宅関連の42社48.3%である。逆に「県外」が高い製造分野は、

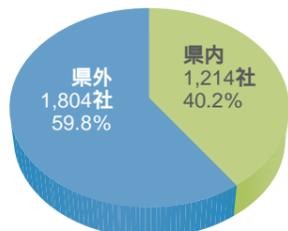


図5 県内外別外注企業数(合計3,018社)

精密機器の190社79.5%、OA機器の185社70.9%、輸送機器306社65.1%である。(図6)

(2) 外注金額

回答企業114社の1年間の外注金額合計は1,507億839万円(前年度119社1,444億9,726万円)である。

これを県内外別にみると、「県内」は601億9,121万円(39.9%)(同720億1,624万円49.8%)、「県外」は905億1,718万円(60.1%)(同724億8,102万円50.2%)であり、前年度に比べ「県内」は金額及び割合とも大きく減少している。(図7)

これを製造分野別にみると、「県内」

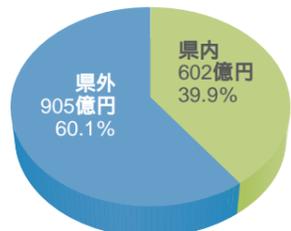


図7 県内外別外注金額(合計1,507億円)

が高い製造分野は、半導体の91.9%(同69.6%)、精密機器の63.2%(同41.8%)、農林機器の59.8%(同64.2%)の順である。「県外」が高い製造分野は、一般機器の87.9%(同86.2%)、OA機器の84.9%(同81.7%)、輸送機器の72.8%(58.1%)である。(図8)

外注している加工内容

回答企業114社が外注している加工内容をみると、「メッキ」が75社で65.8%と最も高く、次いで「旋盤切削」の64社で56.1%、基板加工の53社で46.5%である。(図9)

これを県内外別にみると、県内は「メカ組立」が71.4%で最も高く、次いで「内外研削」と「製缶鉄骨」がいずれも66.7%、「設備メンテナンス」が65.2%、「平面研削」が60.9%である。県外は「冷間鍛造」が100.0%、次いで「ロストワックス鋳造」と「ゴムライニング」がいずれも83.3%であり、以下「ステンレス鋳造」「ダイカスト金型」「粉末冶金」がいずれも80.0%である。(図10)

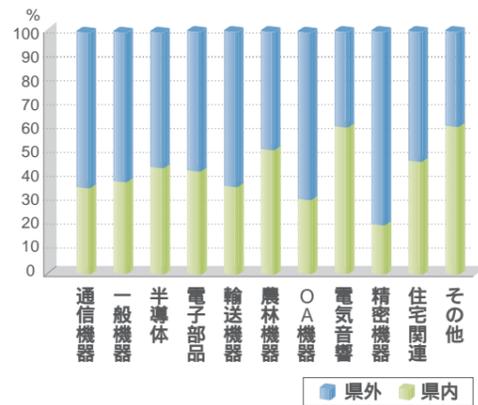


図6 製造分野別外注企業割合(合計3,018社)

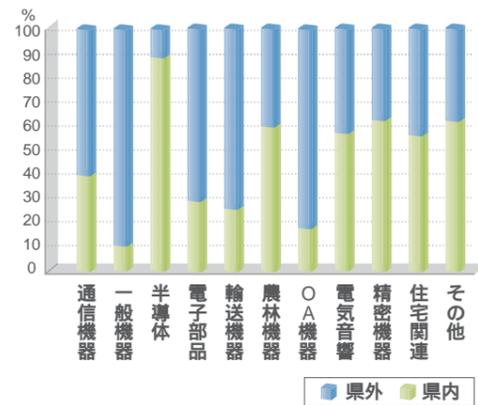


図8 製造分野別外注金額の割合(合計1,507億円)

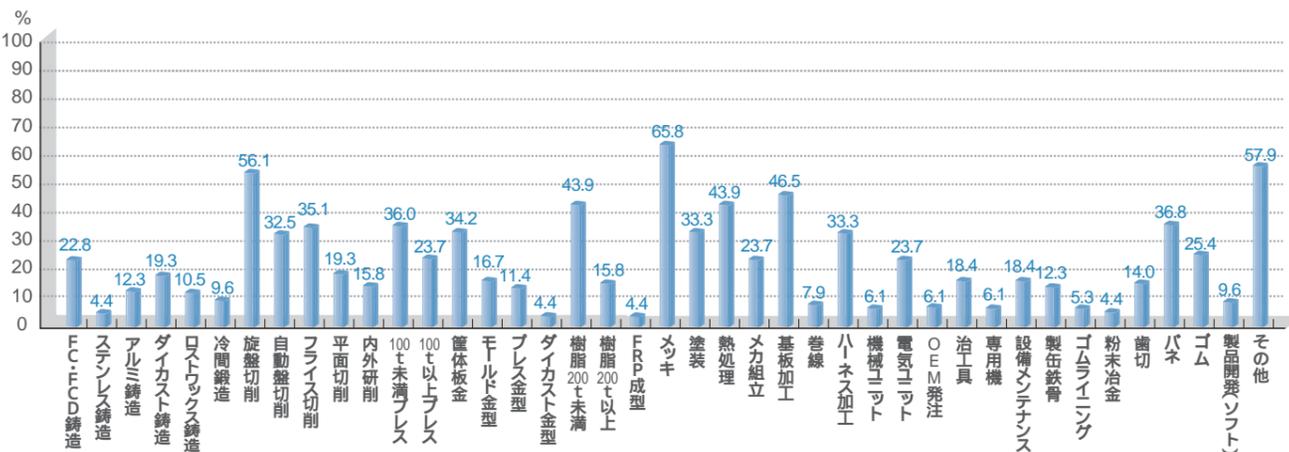


図9 加工内容別外注割合

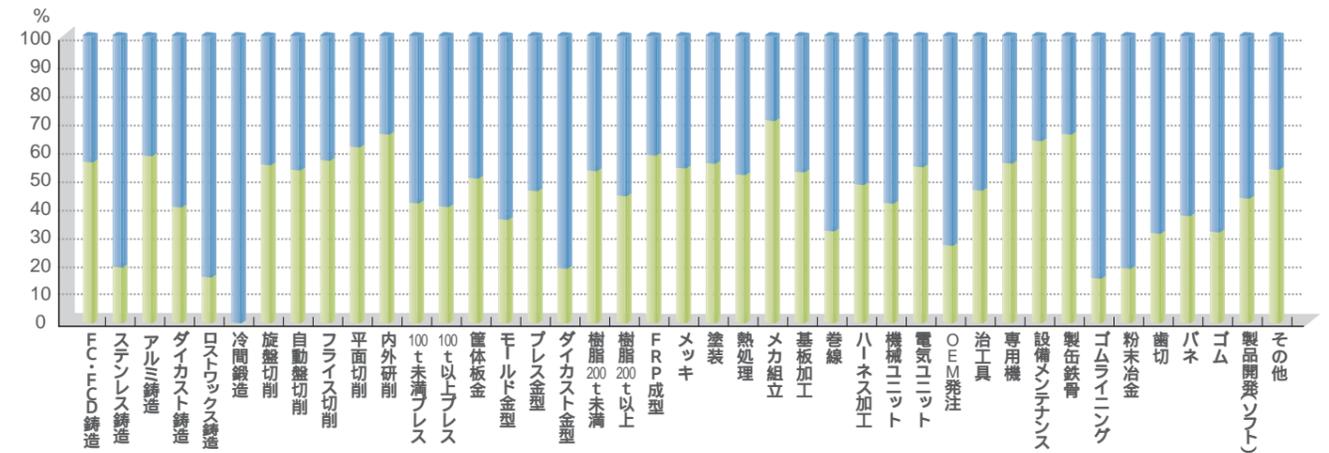


図10 加工内容別県内外企業割合

県内外注企業に対する要望

県内発注企業の県内受注企業に対する要望は、「コスト低減対策」が90社(78.9%)、「短納期への対応力」が72社(63.2%)、「高品質の安定供給」が61社(53.5%)、「多品種少量への対応」が51社(44.7%)等、QCDに関する事項が上位を占めている。

以下、「管理体制の強化」が31社(27.2%)、「加工精度の向上」が23社(20.2%)、「材料調達能力」が15社(13.2%)である。(図11)

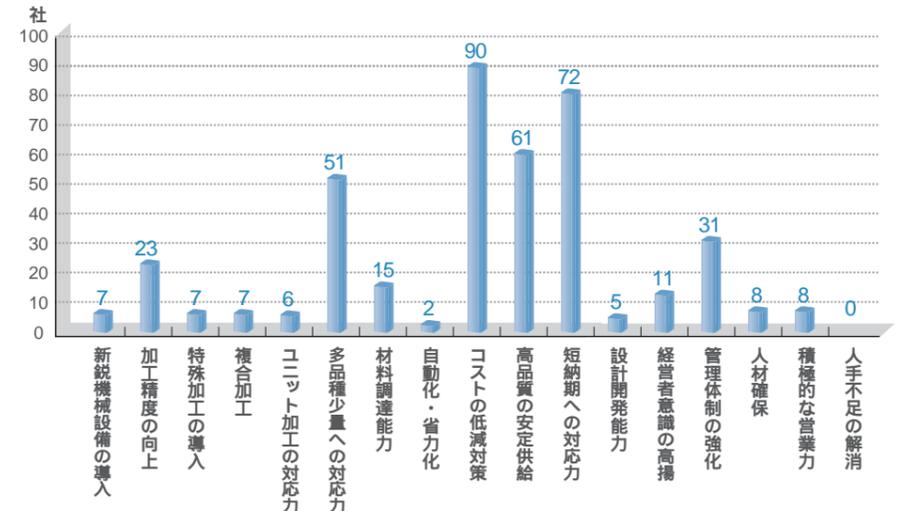


図11 外注企業に対する要望(複数回答)

発注案件

対象企業に対し発注案件について質問したところ、「現在、県内企業に発注することが可能な案件」、「今後、新たに生じる発注案件」に分けて次のとおりとなっている。

(1) 現在、県内企業に発注することが可能な案件

- ・ 筐体板金加工
- ・ プレス、タレパン加工、板金(溶接加工)
- ・ プレス、樹脂成形、切削
- ・ 鋳造加工、鋳造品のマシニング加工、内外径の研磨加工(完品)
- ・ 砲金鋳物
- ・ 切削、研削、表面処理
- ・ SUSのフライス加工、ハーネス加工
- ・ 大型プレス金型修理
- ・ 研削加工(円筒、円径、成形)放電加工、ワイヤー放電加工
- ・ MC加工、メッキ加工

- ・ 穴加工、平面研削、レーザー/曲げ
- ・ パフ研磨、電解研磨
- ・ メッキ(フープ銀メッキ)
- ・ クロームメッキ
- ・ 樹脂メッキ、塗装
- ・ 鋳物の脱錫処理(NPB処理)
- ・ 樹脂成形金型
- ・ 治工具
- ・ メカ組立加工
- ・ 基板加工
- ・ ハーネス加工
- ・ 機内配線、制御盤配線
- ・ はんだ付け等
- ・ ポリカーバ加工(裁断 ゴムを入れ袋状にする)

(2) 今後、新たに生じる発注案件

- ・ 板金、溶接、組立
- ・ プレス加工、抵抗溶接、組立治具設計、製作
- ・ プレス加工、モールド加工
- ・ プレス加工、スポット溶接、CO₂アーク溶接
- ・ 金属熱処理加工
- ・ プレス金型加工
- ・ メカ組立加工
- ・ 捲き線加工
- ・ 自動車用内装品樹脂成形加工
- ・ プラスチック成形、アルミダイカスト

お問い合わせ先 取引支援課 TEL 019-621-5385 FAX 019-624-5480
URL <http://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/> E-mail sitauke@joho-iwate.or.jp